

留 学 報 告 書

記入日:2020年7月2日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 南イリノイ大学カーボンデール校 現地言語: 英語
留学期間	2019年8月～2020年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	教育学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年3月30日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:1月中旬～5月下旬 2学期:8月中旬～12月中旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	8375人
創立年	1869年

留学費用項目	現地通貨 ()	円	備考
授業料	0ドル	0円	
宿舍費	5311ドル	550000円	これは1セメスター分の寮費です
食費	1500ドル	160000円	寮費にカフェテリア代が含まれています
図書費	2000ドル	20000円	
学用品費	50ドル	5000円	
携帯・インターネット費	300ドル	33000円	
現地交通費	0ドル	0円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	100ドル	10000円	
被服費	500ドル	50000円	
医療費	100ドル	10000円	
保険費	400ドル	40000円	形態:明治大学のもの派遣先のもの両方
渡航旅費	1700ドル	180000円	
ビザ申請費	160ドル	17600円	
雑費	100ドル	10000円	
その他		円	
その他		円	
合計	10621ドル	1085600円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田 目的地:セントルイス 経由地:ダラス	
復路 出発地:セントルイス 目的地:羽田 経由地:シカゴ	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:アメリカンエアライン 料金:100000 円ほど 復路 航空会社:JAL 料金:70000 円ほど ∴合計:170000 円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:エクスぺディア) <input type="checkbox"/> その他(_____)	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Neely Hall) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 _____)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
派遣先の大学側が斡旋してくれた	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
1 人部屋で、もう 1 人とバス・トイレは共有でした。自炊がしにくい環境だったため、アパートに住めばよかったと思います。自炊をしたくないのであれば寮でもいいと思います。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:学内の診療所)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:現地のアドバイザー _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?	
大学からの危機管理に関するメールをチェックしたり、防犯のために貴重品に気をつけたりしていた。犯罪に巻き込まれたことはなかった	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
特に問題なかった	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
日本から持っていったクレジットカードで決済した	
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。	
薬やマスク	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	
渡航後にクレジットカードで払った	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Women and men in Comtemporary society		現代における女性と男性
科目設置学部・研究科	社会学科	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	Debaleena Gosh	
授業内容	ジェンダーに関する文献をもとに様々な性のあり方やそれに関する社会問題などについて学びます。少し過激な内容もありました。	
試験・課題など	1週間に1度ミニクイズがあり、授業内容についてのプレゼンが2回ありました。学期末にレポートもあります。	
感想を自由記入	毎週読んでおくべき文献が多く、大変でした。しかし全部読む必要はなく、自分なりに要点となりそうな部分をしっかり読んでおけば大丈夫です。個人的には内容もとても興味深く、男女間における問題に対する考え方やアメリカが抱える性に関する社会問題も多く学ぶことができました。プレゼンテーションはとても緊張しましたが良い経験になりました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Diversity in Education		教育における多様性
科目設置学部・研究科	教育学部	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に75分が2回	
担当教授	Brione Lockett	
授業内容	教育する側の視点から、多様性を活かしたり保ったりするための教育方法を模索する授業内容です。民主主義や資本主義と教育との関係性についても学びました。	
試験・課題など	レポートが2回ほどありましたが内容は簡単でした。期末課題はグループプレゼンでした。	
感想を自由記入	グループワークが多かったです。最初は緊張してあまり発言できませんでしたが、徐々に慣れていき、他のメンバーとも仲良くなることができました。授業の内容はそこまで難しくなかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Speaking and Listening in English		スピーキング&リスニング	
科目設置学部・研究科	言語学部		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が5回		
担当教授	Laura Halliday		
授業内容	留学生が英語のスピーキングやリスニングを訓練します。アメリカの文化や他の国の文化についても学びます。		
試験・課題など	簡単なプレゼンや、授業中に発言する機会は多かったです。試験や課題は特にありませんでした。		
感想を自由記入	履修者が全員留学生であるため、友達がたくさんできました。しかし内容は簡単すぎるものもあったため、内容には満足できませんでした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
English Composition I for ESL		ESL のための英語構成	
科目設置学部・研究科	言語学部		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Syed Sazzadul Alam		
授業内容	ライティングの授業です。 短いエッセーや長いレポートまで扱いました。		
試験・課題など	試験は学期末に授業時間内で教室でエッセーを書くというものでした。課題は、各エッセーやレポートを仕上げるという課題が4つありました。		
感想を自由記入	主にライティングの授業ですが、生徒同士でピアレビューをすることも多いため、英語を話す機会もありました。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	語学試験の勉強
10月～12月	TOEFL 受験、留学応募のための準備
2019年 1月～3月	留学先の決定
4月～7月	VISA 申請、留学先大学への書類の準備、大学の寮の契約手続き
8月～9月	留学開始
10月～12月	12月中旬に秋学期終了
2020年 1月～3月	
4月～7月	冬休みはカナダとアメリカ国内を旅行、1月中旬から春学期開始
8月～9月	3月ごろに新型コロナウイルスの影響で帰国することに。3月末に日本へ帰国
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

南イリノイ大学を希望したのは、自分が学びたい教育学が学べることと、都会ではなく静かな田舎で留学生活を送りたいと思ったからです。教授や生徒、そしてコミュニティの人たちもとても親切で感動しました。自分もこの人たちのように他人に親切になれるように気配りを意識しようと思いました。留学生活の前半は英語の聞き取りに苦労しました。わたしはあまり映画やドラマを見ないので、留学前に海外の映画やドラマをもっと見ておけば良かったと後悔しました。TOEFL の対策には力を入れていましたが、日常会話に直結する英語のリスニング対策はしていなかったのです。なのでこれから留学する方達には映画やTV番組をたくさん見ることを勧めます。寮については、食事が合わなかったり、トラブルがあったりしてあまり快適には過ごせませんでした。しかしアパートに住んでいる友人がよくわたしを部屋に泊めてくれたため、後半の生活は友人の家で過ごすことが多かったです。全ての寮はサンクスギビングや冬休み期間はしまってしまうため、その間の滞在先を決めなければいけないのが難点でした。このような理由から、寮ではなくアパートに住むことをお勧めします。費用もそこまで変わりません。アパートの方が安いかもしれません。全体的に、悪い思い出よりも良い思い出や楽しい経験の方が圧倒的に多いため、とても満足の行く留学生活でした。現地で出会った人や私の留学をサポートしてくださった明治大学の職員の方々、そして家族に本当に感謝しています。この経験を将来最大限に活かせるように頑張りたいです。